

○現行制度の改善又は拡充を求めるもの（拡充を求めるもの）

区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 再提案	(26・8・21第135回総会；上田市・佐久市・安曇野市)		
種類	<input checked="" type="checkbox"/> 現行制度の改善又は <u>拡充</u> を求めるもの		分野	<input checked="" type="checkbox"/> 総務文教
	<input type="checkbox"/> 新たな施策の要望又は提案を求めるもの			<input type="checkbox"/> 社会環境
	<input type="checkbox"/> 特に市町村への財政支援策等を求めるもの ^{※注}			<input type="checkbox"/> 経済
	<input type="checkbox"/> その他 ()			<input checked="" type="checkbox"/> 建設
要望先	<input checked="" type="checkbox"/> 国	担当省庁	国土交通省	
	<input checked="" type="checkbox"/> 県	担当部局	危機管理部、建設部	
	<input type="checkbox"/> その他	名称		
件名	14 国土交通省の高性能レーダシステム「XRAIN(エックス レイン)」の観測エリアの拡大、または、それに代わる高性能観測体制の構築について			
提案市	須坂市			
提案要旨	<p>長野県内にXRAINは設置されておらず、県のほぼ全域が観測対象外となっている。県内全域を対象としたXRAINの早期の設置を要望する。</p> <p>XRAINが長野県の地形に不向きであれば、それに代わる高性能観測体制の早期の整備を要望する。</p>			
提案理由	<p>気象災害から身を守るには、一刻も早い情報が必要であるので、高性能観測体制の整備が急務と考える。</p> <p>国土交通省では、XRAINの設置場所の選定にあたって、重点観測地域（大都市や火山、災害復旧現場など豪雨に対して脆弱性を持つ地域）を設定し、その地域を複数台のXRAINでカバーできるようにしている。</p> <p>長野県は、急峻な地形が多いことに加え、平成26年に噴火した御嶽山、短期間で噴火を繰り返す浅間山をはじめ複数の火山のほか、隣県の長野県境付近には平成26年6月に警戒レベルが引き上げられた草津白根山、新潟焼山など、長野県に影響を及ぼす複数の火山に囲まれており、火山灰が降灰した地域では、土石流の危険性が増すとともに、大地震による災害復旧現場は、豪雨に対して脆弱性を持つ地域となる。</p> <p>また、土石流は避難を検討する時間が少なく、実際に自治体が住民に避難を促すのは難しいが、XRAINがあれば有効である。</p>			

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">現況及び課題等</p>	<p>XRAINは、既存レーダと比較し、最少観測面積が1kmメッシュから250mメッシュに、観測周期は、5分から1分に、配信に要する時間も5～10分が1～2分にと、現行の気象レーダより高分解能、高頻度で観測ができる。しかし、本レーダの観測地域は都市部が中心で、長野県は県境に接する市町村の一部に限られ、その殆どが観測対象外となっている。</p> <p>長野県は、隣県も含め長野県に影響を及ぼす火山が複数あり、大地震による災害復旧現場があり、脆弱性を持つ地域があること。また、土砂災害危険箇所が多いこと、観光地が多く交流人口が多いことを、国に強く働きかける必要があると考える。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">関係法令</p>	